

雨のとよはしみなとフェスティバル 2万1000人が港満喫



あいさつする佐藤元彦会頭

巡視船の見学、三河港クルーズ楽しむ

とよはしみなとフェスティバル「第8回港楽園」は「海の日の17日、豊橋市神野ふ頭前のポートインフォメーションセンターカモメリア一帯で行われた。豊天候にもかかわらず、大勢の親子連れが訪れ、海上保安庁巡視船「すずか」の見学、三河港クルーズなどを楽しんだ。(後面に関連)

ものではなく市民が利用し、楽しんでもらう場所。地域の産業の基である漁業のいろいろな面を今日のイベントで知ってほしい」とあいさつ。早川勝市長が開幕宣言をした。

同フェスティバルは、1977年に「港に親しむ集い」として始まり今年で29回目。豊橋市消防音楽隊の演奏に続いてオーディンでは、豊橋商工会議所・佐藤元彦会頭が「港は船の関係者だけの

安全協会パトロール艇出航式が行われ、海難事故の防止、海上の安全警備に向けボート12隻が出航した。



巡視船「すずか」内で楽しむ親子

かった「レーダーがある機械室に入った」など笑顔を見せていた。会場では屋台やゲームイベント、市民ショー、ちびっこ相撲などが繰り広げられ、2万1000人が来場、港を満喫した。

巡視船の後に続いて沿岸をパレードし、来場者は手を振るなど見送っていた。

写真(上)の一番右にいるのが私です